

序者後序也
傳接到底之人
已集解之書次
序之故也

論語序

叙曰、漢中壘

一段此多舊編作及傳接之合也

二十篇皆孔

漢武帝時太傅
宣秩三年卒
和東方朔等

丞相韋賢及

漢高祖及後
明光武、蕭何
張良等也

太子太傅更

漢武帝時太傅
宣秩三年卒
和東方朔等

語二十二篇

国立大学の研究所・センターは、

理学・工学、医学・生物学、人文・社会科学などをリードする
最先端研究に取り組んでいます。

最先端研究の現場での学生教育、若手研究者支援にも
熱意をもって取り組んでいます。

2020

国立大学附置研究所・センター会議
国立大学附置研究所・センター部会別一覧

中章

頗

論

之

也

語

未 踏 領 域



国立大学附置研究所・センター会議

<http://www.shochou-kaigi.org/>



Web連載インタビュー
「未踏の領野に挑む、知の開拓者たち」
<http://shochou-kaigi.org/interview/>



●お問い合わせ 東京大学 大気海洋研究所

〒277-8564 千葉県柏市柏の葉5-1-5 TEL04-7136-6006 FAX04-7136-6039

Message 2020年度会長挨拶

東京大学大気海洋研究所の河村知彦です。「国立大学附置研究所・センター会議」の2020年度会長を務めることになりました。就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本会議は、国立大学が法人化された平成16年度(2004年度)に「文部科学省所轄並びに国立大学附置研究所会議」を承継して発足しました。2020年4月現在、全国の30国立大学法人に設置された100の附置研究所と研究センターで構成されています。

国立大学の附置研究所およびセンターは、それぞれが日本の学術研究の様々な分野をリードすることを使命として、先端的な研究課題や多様な学際的研究、長期的な視野に基づく基礎研究などに取り組んでいます。また、その多くが共同利用・共同研究拠点として、国内外の研究者コミュニティに開かれた研究支援体制を整備し、研究の基盤ならびに共同研究の機会を提供することによって、個々の大学の枠を超えて我が国の学術研究を支えています。さらに、先端研究の場を学生や若手研究者に積極的に開放し、次世代研究者の育成にも大いに貢献しています。

本会議はこれまで、我が国の学術研究の発展に資する重要な提言や要望を発信し続けてきました。また、各研究所・センターのユニークな研究活動をウェブサイト等で紹介するとともに、公開シンポジウムを開催することによって情報発信にも力を入れています。今後もさらに「研究の見える化」を推進することにより、附置研究所・センターが担っているそれぞれの学問分野における研究の動向を、広く皆様に知っていただきたいと考えています。

私たちは、附置研究所・センターがわが国の学術研究の中核としての役割を担っていることを強く認識し、引き続きその発展に貢献したいと思います。皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2020年度会長

東京大学

大気海洋研究所

河村 知彦 所長

第一部会の活動

Science and Technology

1

①表計算ソフト上の都市計画支援ツール

都市計画立案では、人口や土地利用を地図上に可視化して検討を行うことが重要です。しかし、地理情報システム(GIS)は未だ専門性の高いソフトです。当センターでは、専門家以外による空間情報利活用を支援する研究も行っており、写真は表計算ソフト上で人口や土地利用を可視化して、自治体職員や地域住民の議論を支援するツールの例です。(東京大学 空間情報科学研究センター)

②産業科学AIセンターの発足で分野横断AI技術革新

2019年4月に発足した産業科学AIセンターでは、産業科学研究所の各部門に対応したAI導入研究分野を設置し、

若手研究者にAI教育を施すと共に、研究現場主導すなわちボトムアップ型のAI導入プロトコルを開発しています。また、速度と精度の両面で世界最高水準のビッグデータ解析技術であるリアルタイムAI技術の開発に成功、AI技術の研究開発拠点の役割も担っています。(大阪大学 産業科学研究所)

③原子層物質の光学的性質の解明と制御

グラフエン関連物質の原子層物質におけるバレーと呼ばれる新たな物理自由度の制御に成功した。わずか原子数層の厚みの極薄薄膜物質において、その特異な光学的性質を明らかにした意義に加え、バレー自由度を利活用したオプトバレートロニクス実現に向け新たな指針を与え、将来の高速・省エネルギー光情報デバイスの実現にもつながると期待される。(京都大学 エネルギー理工学研究所)

④設計を変える離散曲面の新幾何学

建築などで活用される、施工上の制約から平面や曲面を貼り合わせて作られる曲面を直接統制する幾何学を構築します。また、工業意匠設計での「美しい」平面曲線族を、ユークリッド幾何と異なる枠組みで捉えることで見える

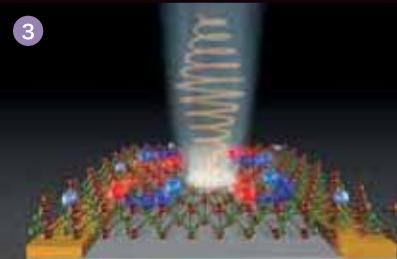
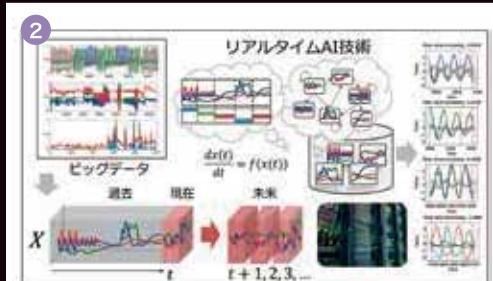
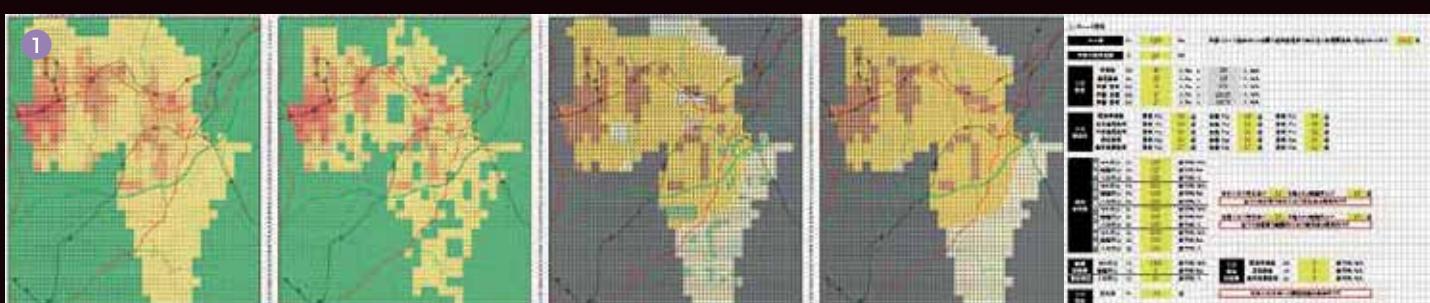
よい数学的性質を手がかりに、「美的曲面」に拡張して取り込みます。設計の変革が期待されます。(九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所)

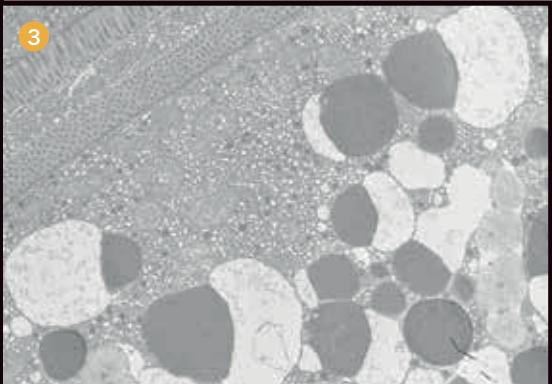
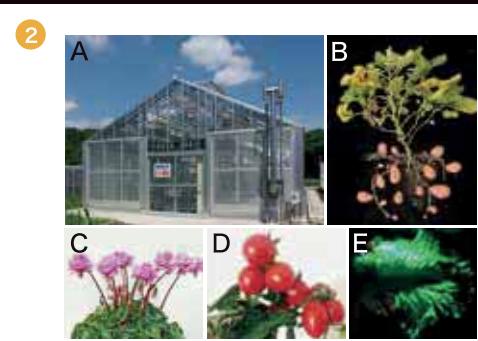
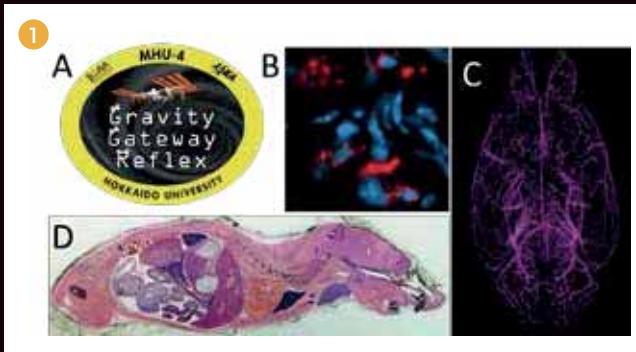
⑤世界最硬ヒメダイヤの合成と応用

世界最大の超高圧合成装置BOTCHAN-6000を用いた独自技術により生み出された、世界で最も硬いバルク物質「ナノ多結晶ダイヤモンド(ヒメダイヤ)」は、国内外30以上の研究機関に提供され、地球惑星深部科学分野とともに、物性物理学・無機化学・材料科学を始めとした様々な分野の先端研究に活用されています。(愛媛大学 地球深部ダイナミクス研究センター)

⑥津波訓練アプリ「逃げトレ」

津波シミュレーションと位置情報サービスをスマホ上で合体。避難に成功できるかどうかシミュレーション結果を見ながら、現場でリアルに避難訓練ができるアプリを開発しました。自らの避難行動をふりかえり、将来起こりうる津波から一人でも多くの人が無事に逃げられることを目指しています。2018年度グッドデザイン金賞受賞。(京都大学 防災研究所)





①感染癌などの病気を制御する臓器連関の解析

多くの環境刺激は、臓器連関を介して感染癌を含む病気へ影響を与える。重力が血管を介して免疫系に影響を与えることを宇宙実験で検証した(A)。超解像共焦点顕微鏡による微細構造解析(B)、血管や神経回路の3D臓器透明化解析(C)、マクロトームによる全身切片解析(D)などで臓器連関をマルチスケールで観察する。

(北海道大学 遺伝子病制御研究所)

②遺伝子組換え植物やゲノム編集植物の作出

「形質転換植物デザイン研究拠点」を中心として、遺伝子組換え植物やゲノム編集植物研究の中核機関として、国内外の植物科学研究成果の実用化を推進・支援しています。遺伝子組換え植物の栽培可能な特定網室(A)、遺伝子組換えジャガイモ(B)、シクラメン(C)。ゲノム編集技術を用いて作出されたトマト(D)。植物におけるタンパク質大量発現システム(E)。

(筑波大学 つくば機能植物イノベーション研究センター)

③内分泌・代謝メカニズムの解明に向けて

生体調節研究所では内分泌研究に加え、脂肪細胞等の生理機能研究やゲノム編集を駆使した新たな代謝制御技術の開発も行っています。また、様々なモデル生物を用いて内分泌・代謝の基本メカニズムの解明にも取り組んでいます。最近では線虫を用いてリポタンパク質の分泌に必須な因子を発見しました。【写真：リポタンパク質の分泌が阻害された腸細胞】

(群馬大学 生体調節研究所)

④オーシャンDNAプロジェクトの発足

海洋の生物多様性と生物資源の保全に資することを目的として、2020年度より海洋DNAアーカイブ・解析拠点形成事業を開始します。研究船等によるサンプル採取と一ヵイブ、微生物から魚類・大型生物までの海洋(環境)DNA解析、サンプルやデータの公開・提供など、共同利用拠点としての特徴を最大限に活かして展開します。

(東京大学 大気海洋研究所)

第二部会の活動 Medical and Biology

2

第三部会の活動

Humanities and Social Science

3

①経済実験による行動経済学の研究

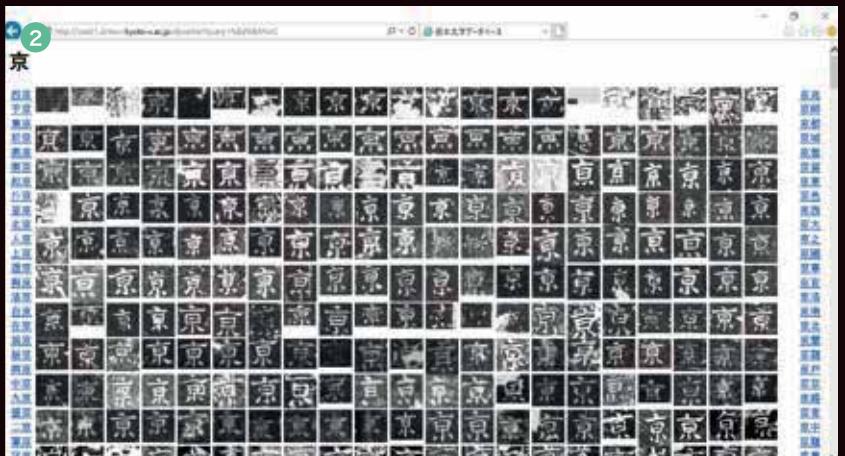
本研究所では、2つの経済実験ラボラトリー（計45席）を備えており、人間行動の実証的把握や経済の新たな動きを分析することで、従来の狭義の合理性で説明できない人間行動の解明を目指しています。実証・実験分析と理論分析の相互作用を通じて、制度設計や経済政策等の研究を進めています。

(大阪大学 社会経済研究所)

②拓本文字データベース

<http://coe21.zinbun.kyoto-u.ac.jp/djvuchar>で公開中の拓本文字データベースは、京都大学人文科学研究所所蔵の漢代～中華民国初期の文字拓本4924枚から、約231万文字の画像を切り出し、訛文としての検索を可能にした漢字画像データベース。漢字字体の時代変遷を縦覧できると同時に、各拓本の全体画像へジャンプ可能。

(京都大学 人文科学研究所)



1

理工学系 第1部会の研究所・研究センター Science and Technology

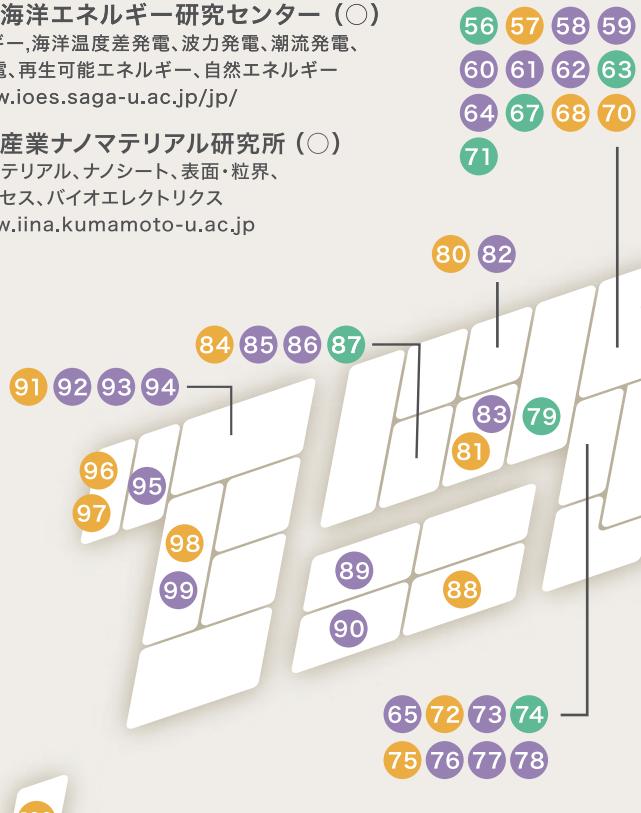
第1部会シンポジウム
令和2年10月2日(金)～3日(土)
担当:静岡大学 電子工学研究所



2020年度 第1部会長
京都大学 エネルギー理工学研究所長
岸本 泰明

- 1 北海道大学 低温科学研究所 (○)
低温、寒冷圏、水・物質循環、雪氷、宇宙物質、生物環境、環オホーツク
<http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/>
- 2 北海道大学 電子科学研究所 (○)
複合領域ナノサイエンス
<http://www.es.hokudai.ac.jp/>
- 4 北海道大学 触媒科学研究所 (○)
触媒、表面化学、電極表面、光触媒、炭素資源変換、有機材料、
高分子、触媒理論化学、実用化基盤技術開発
<http://www.cat.hokudai.ac.jp/>
- 7 北海道大学 北極域研究センター (○)
北極域、大気圏・水圏、陸圏、雪氷圏、環境工学、
人文社会科学、衛星観測・モデリング
<https://www.arc.hokudai.ac.jp/>
- 10 東北大學 金属材料研究所 (※)
材料物性、材料設計、物質創製、材料プロセス・評価、
エネルギー材料、社会基盤材料、エレクトロニクス材料
<http://www.imr.tohoku.ac.jp/>
- 12 東北大學 流体科学研究所 (○)
流体、流動、環境・エネルギー、人・物質マルチスケールモビリティ、
健康・福祉・医療、エアロスペース、ナノ・マイクロ、融合研究
<http://www.ifs.tohoku.ac.jp/>
- 13 東北大學 電気通信研究所 (○)
情報デバイス、プロードバンド通信、人間情報システム、
システム・ソフトウェア工学、ナノエレクトロニクス・スピントロニクス、
ブレインウェア
<http://www.rie.c.tohoku.ac.jp/ja/>
- 14 東北大學 多元物質科学研究所 (○)
多元物質科学、有機・無機ハイブリッド材料、プロセスシステム・
デバイス工学、先端計測技術開発、ネットワーク型共同研究拠点
<http://www.tagen.tohoku.ac.jp/>
- 15 東北大學 災害科学国際研究所
災害科学、復旧・復興、地震、津波、自然災害、災害医学、レジリエンス
<https://irides.tohoku.ac.jp/>
- 17 東北大學 電子光物理学研究センター (○)
原子核物理、ハドロン物理、不安定核科学、放射化学、ビーム物理学、
高エネルギー電子加速器、電子光ビーム
<http://www.lns.tohoku.ac.jp/>
- 18 筑波大学 計算科学研究センター (○)
学際計算科学、計算機科学、スーパーコンピュータ
<https://www.ccs.tsukuba.ac.jp/>
- 20 筑波大学 アイソトープ環境動態研究センター (○)
福島第一原子力発電所事故、放射能、アイソトープ、核関連施設、環境、水循環
<http://www.ied.tsukuba.ac.jp/>
- 24 千葉大学 環境リモートセンシング研究センター (○)
リモートセンシング、地理情報、大気環境、陸域環境、気候変動、モデル統合
<http://www.cr.chiba-u.jp/>
- 26 東京大学 地震研究所 (○)
地震、火山、津波、地球内部構造、地球内部ダイナミクス、
自然災害、観測固体地球科学
<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/>
- 29 東京大学 生産技術研究所
工学全般(基礎系・機械・生体系・情報・エレクトロニクス系、
物質・環境系・人間・社会系)、産学連携、国際連携、地域連携
<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/>
- 32 東京大学 宇宙線研究所 (※)
宇宙線、ニュートリノ、重力波
<http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/>
- 33 東京大学 物性研究所 (○)
物性科学、新物質、ナノサイエンス、量子ビーム、
強磁場、光科学、計算物質科学
<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/>
- 35 東京大学 先端科学技術研究センター
材料、情報、環境・エネルギー、生物医化学、バリアフリー、社会科学
<https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/>
- 36 東京大学 素粒子物理国際研究センター (○)
素粒子物理、CERN LHC-ATLAS実験、PSI MEG実験、
国際リニアコライダーILC、陽子・陽子衝突、ヒッグス粒子、
超対称性理論、統一理論
<http://www.icepp.s.u-tokyo.ac.jp/>
- 37 東京大学 空間情報科学研究センター (○)
GIS、時空間解析、時空間センシング、空間データ基盤
<http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/>
- 38 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 (○)
バイオマテリアル、医療デバイス・システム、生体機能分子、生体医歯工学
<http://www.tmd.ac.jp/i-mde/www/>
- 41 東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所 (○)
グリーンケミストリー、機能性分子、バイオマス資源、
省エネルギー、超分子、生体分子、医用工学
<http://www.res.titech.ac.jp/index.html>
- 42 東京工業大学 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 (○)
知能化工学、情報イノベーション、電子機能システム、創形科学、
量子ナノエレクトロニクス、フォトニクス集積システム、先進メカノデバイス、
融合メカノシステム、先端材料、都市防災、異種機能集積、生体医歯工学
<http://www.first.iir.titech.ac.jp/index.html>
- 43 東京工業大学 科学技術創成研究院 フロンティア材料研究所 (○)
セラミックス、機能性酸化物、先端材料、建築構造・材料、耐震・制振
<https://www.msl.titech.ac.jp/index.html>
- 44 東京工業大学 科学技術創成研究院 先導原子力研究所
原子力エネルギー、量子・粒子線科学、革新的原子力システム、
原子力安全・セキュリティ、核燃料サイクル、
使用済み核燃料および放射性廃棄物処理・処分、同位体科学、原子力材料、
放射線医療応用・生物影響
<http://www.lane.iir.titech.ac.jp/jp/index.html>
- 47 新潟大学 災害・復興科学研究所
自然災害科学、豪雪、極端気象、地震、噴火、土砂・洪水灾害、
複合運動災害、減災対策、復興、危機管理
<http://www.nhdr.niigata-u.ac.jp/>
- 50 金沢大学 環日本海域環境研究センター (○)
越境汚染、国際共同研究拠点、統合環境研究、有害化学物質、
大気観測サーバーサイト、低レベル放射能計測
<http://www.ki-net.kanazawa-u.ac.jp/>
- 51 静岡大学 電子工学研究所 (○)
イメージングデバイス、ナノエレクトロニクス、ナノフォトニクス、ナノマテリアル
<http://www.rie.shizuoka.ac.jp/>
- 52 静岡大学 グリーン科学技術研究所
グリーンエネルギー創成、最適化エネルギーネットワーク、
環境ストレスマネジメント、ゲノム科学、機能性分子の発見・設計・創成、
ナノバイオ科学
<http://www.green.shizuoka.ac.jp/>
- 54 名古屋大学 未来材料・システム研究所 (○)
革新的な省エネルギー技術、高度計測技術、次世代半導体材料・デバイス、
持続可能な社会のためのシステム技術
<http://www.iamss.nagoya-u.ac.jp>

- 55 名古屋大学 宇宙地球環境研究所 (○)**
太陽地球系科学、宇宙線、太陽、太陽風、電磁気圏、超高層大気、
気象学、海洋学、水循環、地球表層、鉱物学、考古学、年代測定
<http://www.isee.nagoya-u.ac.jp/>
- 58 京都大学 化学研究所 (※)**
化学、元素科学、物性科学、生物・情報学、
ビーム科学、および学際プラットフォーム
<https://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp/>
- 59 京都大学 エネルギー理工学研究所 (○)**
ゼロエミッションエネルギー、プラズマ・量子エネルギー、
ソフトエネルギー、核融合エネルギー利用、
高効率太陽光エネルギー利用、バイオリファイナリー、
広帯域エネルギー科学
<http://wwwiae.kyoto-u.ac.jp/>
- 60 京都大学 生存圏研究所 (○)**
生存圏科学、環境診断・循環機能制御、
太陽エネルギー変換・高度利用、宇宙生存環境、
循環材料・環境共生システム、高品位生存圏
<http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/>
- 61 京都大学 防災研究所 (○)**
防災学、減災学、災害学理、自然災害科学、地震災害、
火山災害、地盤災害、気象災害、水災害、総合防災
<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>
- 62 京都大学 基礎物理学研究所 (○)**
素粒子論、原子核理論、物性理論、宇宙論、量子情報理論
<https://www.yukawa.kyoto-u.ac.jp/>
- 64 京都大学 数理解析研究所 (※)**
数学、数理科学
<http://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/ja/>
- 65 京都大学 複合原子力科学研究所 (○)**
研究用原子炉、加速器、核エネルギー利用、放射線利用、
複合原子力科学
<https://www.rri.kyoto-u.ac.jp/>
- 73 大阪大学 産業科学研究所 (○)**
情報科学、量子科学、材料科学、ビーム科学、
生体科学、分子科学、ナノテクノロジー、AI
<https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/>
- 76 大阪大学 接合科学研究所 (○)**
接合科学、溶接・接合技術、国際研究連携、ものづくり基盤技術、
産学共創事業
<http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/index.jsp>
- 77 大阪大学 レーザー科学研究所 (○)**
レーザー科学、プラズマ科学、高エネルギー密度科学、レーザー核融合科学
<https://www.ile.osaka-u.ac.jp/ja/index.html>
- 78 大阪大学 核物理研究センター (※)**
原子核物理学、ハドロン物理学、加速器物理学、計算物理学
<https://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/>
- 82 岡山大学 惑星物質研究所 (○)**
惑星科学、惑星深部、高温高压実験、鉱物・マグマ・流体物性、
主要・微量元素分析、同位体分析、年代測定、アストロバイオロジー
<http://www.misasa.okayama-u.ac.jp/jp/>
- 83 岡山大学 異分野基礎科学研究所**
数理科学、量子宇宙、光合成、進化、構造生物学、錯体化学、
超伝導、有機エレクトロニクス材料、理論科学
<http://www.riis.okayama-u.ac.jp/>
- 85 広島大学 ナノデバイス・バイオ融合科学研究所 (○)**
ナノ集積科学、集積システム科学、分子生命情報科学、集積医科学
<http://www.rnbs.hiroshima-u.ac.jp/modx/index.html>
- 86 広島大学 放射光科学研究センター (○)**
放射光、超伝導、スピノ、物性・生命異分野融合、
高輝度小型放射光源、人材育成
<http://www.hsrc.hiroshima-u.ac.jp/>
- 89 愛媛大学 地球深部ダイナミクス研究センター (○)**
超高压実験、第一原理計算、地球ダイナミクス、鉱物物性、
相転移、地球深部、マントル、核、レオロジー、地球深部水、
スーパーース、惑星科学、ダイヤモンド、新物質合成
<http://www.grc.ehime-u.ac.jp/>
- 90 高知大学 海洋コア総合研究センター (○)**
国際深海科学掘削計画(IODP)、地球掘削科学、
地球環境システム変動、海底資源学、海洋天然物化学
<http://www.kochi-u.ac.jp/marine-core/>
- 92 九州大学 応用力学研究所 (○)**
応用力学、核融合力学、新エネルギー力学、地球環境力学
<https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/>
- 93 九州大学 先導物質化学研究所 (○)**
物質化学、ソフトマテリアル、機能材料、
炭素材料、エネルギーデバイス
<http://www.cm.kyushu-u.ac.jp/>
- 94 九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 (○)**
産業数学、数学、数理科学、統計学
<http://www.imi.kyushu-u.ac.jp/>
- 95 佐賀大学 海洋エネルギー研究センター (○)**
海洋エネルギー、海洋温度差発電、波力発電、潮流発電、
洋上風力発電、再生可能エネルギー、自然エネルギー
<http://www.oes.saga-u.ac.jp/jp/>
- 99 熊本大学 産業ナノマテリアル研究所 (○)**
二次元ナノマテリアル、ナノシート、表面・粒界、
AI、爆発プロセス、バイオエレクトリクス
<http://www.iina.kumamoto-u.ac.jp>



センター部会別一覧

Institutes and Centers of
al Universities

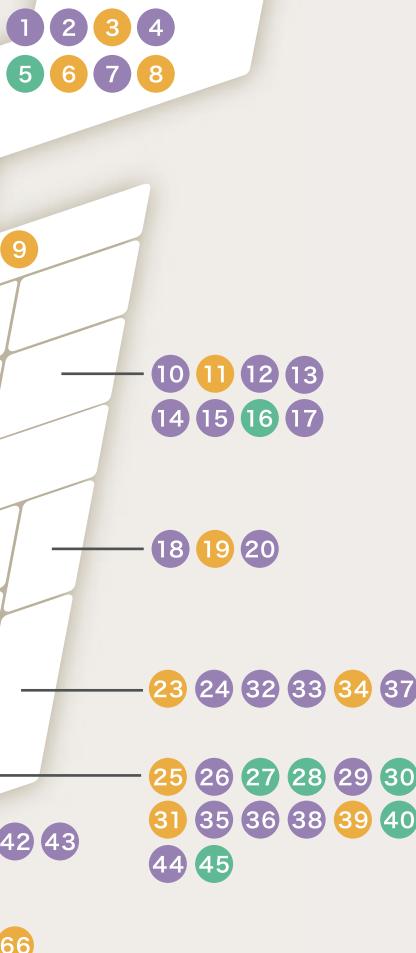
2

医学・生物学系
第2部会の研究所・研究センター
Medical and Biology



2020年度
第2部会長
琉球大学
熱帯生物圏研究センター
松崎 吾郎

第2部会シンポジウム
令和2年11月13日(金)～14日(土)
担当: 大阪大学 蛋白質研究所



- 3 北海道大学 遺伝子病制御研究所 (○)**
感染癌、免疫学、感染症、腫瘍、炎症、基礎医学、生命科学
<http://www.igm.hokudai.ac.jp/>
- 6 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター (○)**
人獣共通感染症、予防・診断・治療法の開発、
グローバルサーベイランス、アジア・アフリカ、One Health
<http://www.czc.hokudai.ac.jp/>
- 8 帯広畜産大学 原虫病研究センター (○)**
原虫病、ベクター、OIEコラボレーティングセンター、
アジア・アフリカ、獣医学
<http://www.obihiro.ac.jp/~protozoa/index.html>

- 9 弘前大学 被ばく医療総合研究所 (○)**
放射線(能)計測、物理線量評価、生物学的線量評価、放射線生物学、
バイオアッセイ、環境放射生態学、環境動態、分析化学、人材育成、被ばく医療体制
<http://www.irem.hirosaki-u.ac.jp/>
- 11 東北大学 加齢医学研究所 (○)**
加齢制御、腫瘍制御、脳科学、スマート・エイジング、医療機器開発
<http://www.idac.tohoku.ac.jp/>
- 19 筑波大学 つくば機能植物イノベーション研究センター (○)**
遺伝資源、遺伝子組換え植物、特定網室、
環境影響試験圃場、リスク分析、LMO/GMO理解増進
<http://www.gene.tsukuba.ac.jp/>
- 21 筑波大学 下田臨海実験センター**
海洋生物学、生物多様性、進化発生系統、
海洋生態、海洋環境、海洋酸性化
<http://www.shimoda.tsukuba.ac.jp/>
- 22 群馬大学 生体調節研究所 (○)**
内分泌・代謝、生活習慣病、細胞生物学、ゲノム・エピゲノム解析
<https://www.imcr.gunma-u.ac.jp/>
- 23 千葉大学 真菌医学研究センター (○)**
病原真菌・放線菌、臨床感染症、免疫、病原真菌・放線菌バイオリソース
<http://www.pf.chiba-u.ac.jp/>
- 25 東京大学 医科学研究所 (※)**
医科学研究、感染症、免疫学、がん研究、ヒトゲノム解析、疾患システム研究、
再生医療、プレシジョン・メディシン、遺伝子・細胞治療、ELSI研究、
トランスレーションナル・リサーチ、医療ビッグデータ解析、AI支援医療
<http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/imsut/jp/>
- 31 東京大学 定量生命科学研究所**
構造生物学、ゲノム科学、脳科学、データ再現性
<http://www.iam.u-tokyo.ac.jp/>
- 34 東京大学 大気海洋研究所 (○)**
海洋、大気、地球科学、気候変動、海洋生物資源、地球生命圈
<https://www.aori.u-tokyo.ac.jp/>
- 39 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 (○)**
難治疾患、基礎生物学、ゲノム応用医学、難治病態、先端分子医学
<http://www.tmd.ac.jp/mri/>
- 46 新潟大学 脳研究所 (○)**
基礎・臨床神経学、精神神経疾患、バイオリソース、
統合脳機能、神経病理学、ヒト脳科学、システム脳病態学
<https://www.bri.niigata-u.ac.jp/>
- 48 富山大学 和漢医薬学総合研究所**
漢方医学、伝統医学、病態薬効解析、生薬・天然物分析、データベース
<https://www.inm.u-toyama.ac.jp/>
- 49 金沢大学 がん進展制御研究所 (○)**
発がん、悪性化、がんモデル、微小環境、幹細胞、分子標的
<http://ganken.cri.kanazawa-u.ac.jp/>
- 53 名古屋大学 環境医学研究所**
次世代創薬、ストレス受容・応答、生体適応・防御、
新規治療法・予防法、脳神経系、内分泌・代謝、ゲノム防御
<http://www.riem.nagoya-u.ac.jp/>
- 57 京都大学 ウィルス・再生医科学研究所 (○)**
ウイルス学、生命科学、分子生物学、細胞生物学、再生生物学、
幹細胞、医工学、再生医療
<http://www.infront.kyoto-u.ac.jp/>

3

人文・社会科学系
第3部会の研究所・研究センター
Humanities and Social Science

第3部会シンポジウム

令和2年10月23日(金)

担当:京都大学 こころの未来研究センター



2020年度
第3部会長
京都大学
こころの未来研究センター長
河合 俊雄

- 66 京都大学 靈長類研究所 (○)
靈長類の総合研究、人間の進化、学際的研究、国際化
<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>
- 68 京都大学 iPS細胞研究所
iPS細胞、再生医療、幹細胞
<http://www.cira.kyoto-u.ac.jp/j/index.html>
- 69 京都大学 生態学研究センター (○)
生態系、生物多様性、生物間相互作用、琵琶湖、熱帯林
<http://www.ecology.kyoto-u.ac.jp/>
- 70 京都大学 野生動物研究センター (○)
野生動物、フィールドワーク、動物園・水族館、絶滅危惧種、保全
<http://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/>
- 72 大阪大学 微生物病研究所 (○)
感染症、病原体、免疫、生体防御、
基礎生物学、がん、海外拠点
<http://www.biken.osaka-u.ac.jp/>
- 75 大阪大学 蛋白質研究所 (○)
蛋白質科学、ライフサイエンス、構造・機能生物学、
蛋白質構造データバンク
<http://www.protein.osaka-u.ac.jp/>
- 80 鳥取大学 乾燥地研究センター (○)
乾燥地科学、砂漠化、干ばつ、ダスト、環境修復
<http://www.alrc.tottori-u.ac.jp/index.html>
- 81 岡山大学 資源植物科学研究所 (○)
環境ストレス、遺伝資源、ゲノム育種、分子生物学、植物生理、
植物栄養、植物病理、遺伝
<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/index-j.html>
- 84 広島大学 原爆放射線医科学研究所 (○)
原爆被爆者、放射線障害、被ばく医療、放射線発癌、
ゲノム損傷修復、再生医学、医療放射線被ばく
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/rbm>
- 88 徳島大学 先端酵素学研究所 (○)
医科学、免疫学、酵素、慢性炎症、糖尿病、ゲノム、プロテオーム、
ゲノム編集、オープンイノベーション
<http://www.iams.tokushima-u.ac.jp/>
- 91 九州大学 生体防御医学研究所 (○)
多階層生体防御システム、トランスオミクス、システム免疫学、
がん生物学、発生再生医学、神経生物学
<http://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/>
- 96 長崎大学 熱帯医学研究所 (○)
熱帯医学、感染症、熱帯公衆衛生学、国際保健、
ベトナム・ケニア拠点、熱帯医学ミュージアム
<http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/nekken/>
- 97 長崎大学 原爆後障害医療研究所 (○)
放射線影響学、被ばく医療、ゲノム学、腫瘍学
<http://www-sdc.med.nagasaki-u.ac.jp/index-sjis.html>
- 98 熊本大学 発生医学研究所 (○)
発生制御、幹細胞、器官構築、臓器再建
<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/>
- 100 琉球大学 热帯生物圏研究センター (○)
亞熱帯島嶼、サンゴ礁、マングローブ、生物多様性、
共生、遺伝資源、感染症
<http://www.tbc.u-ryukyu.ac.jp/ja/>
- 5 北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター (○)
スラブ・ユーラシア地域研究、ロシア、シベリア・極東、
中央ユーラシア、東欧、地域比較、境界研究
<http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/index.html>
- 16 東北大学 東北アジア研究センター
東北アジア地域研究、文理連携、自然史、歴史文化、国際関係、
環境資源、応用・社会連携
<http://www.cneas.tohoku.ac.jp/>
- 27 東京大学 東洋文化研究所
東洋文化、アジア学、国際総合日本学
<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/>
- 28 東京大学 社会科学研究所 (○)
社会科学の学際研究、現代日本社会研究、
全所的プロジェクト、社会調査・データアーカイブ
日本語：<https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/>
英語：<https://www.iss.u-tokyo.ac.jp/>
- 30 東京大学 史料編纂所 (○)
歴史学、日本史、歴史情報学、文献研究、文化財、史料学
<http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/index-j.html>
- 40 東京外国语大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 (○)
少数言語の記録・保存、中東・イスラーム圏、文化人類学、情報資源利用研究、
フィールドサイエンス
<http://www.aa.tufs.ac.jp/>
- 45 一橋大学 経済研究所 (○)
経済制度、公的統計マイクロデータ、高度実証分析拠点、
世代間問題、長期経済統計
<http://www.ier.hit-u.ac.jp/Japanese/>
- 56 京都大学 人文科学研究所 (○)
人文学、人類学、社会学、情報学、科学史、
中国学、東洋学、現代中国研究
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/>
- 63 京都大学 経済研究所 (○)
複雑系経済学、経済変動、ゲーム理論、組織と戦略
<http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/jpn/index.html>
- 67 京都大学 東南アジア地域研究研究所 (○)
持続型生存基盤研究、文理融合アプローチ、フィールド・サイエンス、
相関型地域研究、地域情報学
<https://kyoto.cseas.kyoto-u.ac.jp/>
- 71 京都大学 こころの未来研究センター
こころの学際研究、心理学、脳科学、人文社会科学、
基礎研究と社会連携
<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/>
- 74 大阪大学 社会経済研究所 (○)
行動経済学、経済実験、経済政策、制度設計
<https://www.iser.osaka-u.ac.jp/>
- 79 神戸大学 経済経営研究所
グローバル経済、企業競争力、企業情報、グローバル金融、計算社会科学
<https://www.rieb.kobe-u.ac.jp/>
- 87 広島大学 高等教育研究開発センター
高等教育研究、大学改革、大学のガバナンス、
高等教育政策、大学教授・専門職、IR 方法論
<https://rihe.hiroshima-u.ac.jp/>

(○)共同利用・共同研究拠点 認定期間 2016年 4月 1日～2022年 3月31日

(※)国際共同利用・共同研究拠点 認定期間 2018年11月13日～2022年 3月31日



表紙:正平版『論語』

日本で最初に刊行された『論語』の版本で、1364年堺での木版印刷。底本である何晏『論語集解』は中国では既に失われ、正平版は最古の形の『論語』を今日に伝える貴重な資料。「米沢蔵書」印は直江兼続旧蔵を示す。(東京大学 東洋文化研究所)

裏表紙:ミュテフェッリカ版キャーティフ・チレビ『世界觀望の書』

イスラーム圏では手書きの書写が重視されたため印刷技術が発展しなかったが、イブラヒム・ミュテフェッリカはオスマン帝国下イスタンブルの勅許印刷所で18世紀前半にイスラーム圏初の活版印刷を手がけた。本書はメルカトルとホンディウスの世界図に基づき、日本からアナトリア東部までのアジアの地理を記述したもの。(東京大学 東洋文化研究所)

「国立大学附置研究所・センター会議」は、
全国の国立大学の研究所・センターの所長・センター長が協力して
日本の学術研究を発展させることを目的とした組織です。

組織紹介

30の国立大学の100の研究所・研究センターで構成されています。
所属教員数は3,400名を超えます。
理工系中心の第1部会(53研究所・センター)、医学・生物系中心の第2部会(33研究所・センター)、人文・社会系中心の第3部会(14研究所・センター)からなります。

主な活動

- 各研究所・センター間の学術交流と情報交換
- 文部科学省との情報交換
- 学術研究政策に対する問題提起や提言
- 研究所・センターが行っている研究の広報
- 最先端研究を紹介するためのシンポジウムの開催